

ウクライナに平和を！真の核軍縮を



ウクライナの事態に対し、軍事に軍事で対抗すれば戦争が拡大します。日本は唯一の被爆国で平和憲法の国として、核大国ロシアの横暴を許さない国際世論の先頭に立つべきです。

ウクライナの民族自決権を守ることは当然です。しかし、NATOがミサイル基地をロシアの国境付近に集め続け、互いに軍事的緊張を高めてきたことも原因です。真の解決策である軍縮と緊張緩和を求めていきましょう。

憲法9条が改悪されたら、どうなる？

自民党の改憲草案は「国防軍」と書いてある！→徴兵制がつくられる！

今、18歳から選挙権があるように、国を守るのは国民の義務だと、自民公明政権は、きつと言い出し、その他の補完政党も一緒になって、「徴兵制」を制定するでしょう。後方支援などといってアメリカ軍と共に行動すれば攻撃を受けて、体に障害が残ったり、最悪は殺されることとなります。自衛隊員に応募

する人は減少するでしょう。今でも自衛隊員に応募する人びとが徐々に減少しています。

大学生は奨学金と言う借金に苦しんでいます。この状況に目をつけて、自衛隊に志願して何年か勤務したら、奨学金返還を免除するなど権力者は言い出すでしょう。いわば「ステルス徴兵制」です！

自民党改憲草案は憲法に「緊急事態」条項を加える！

→総理大臣は独裁者となり緊急事態が起きた場合に総理が緊急事態宣言を発するとなっている。

このような権限を首相に与えることは危険なことです。首相が緊急事態中は何でもできるということです。独裁者になることを国民が承認することと同じです。憲法にわざわざ「緊急事態」を書き加えること自体、自民党の意図が見えています。地震や天変地異等に備えるのは「法律」で十分可能です。

「憲法改悪を許さない全国署名」を集めています。おもて面の連絡先に電話をしていただければ、署名用紙をお届けします。また、用紙は [<https://www.kyodo-center.jp/>] からダウンロードできます。
(上牧9条の会)

